

社会科学習指導案

学校名 海田町立海田小学校

- 1 日 時 平成29年10月19日（木）
- 2 学 年 第4学年1組 （男19名 女子10名 29名）
- 3 場 所 4年1組教室
- 4 単元名 「安全なくらしを守る なくそう、こわい火事」
- 5 単元について

（1）単元観

本単元では社会科学習指導要領の第3・4学年の目標（1）「地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。」と内容（4）「地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学・調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。」の「関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。」とイ「関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。」を学習することをねらいと内容にしている。

消防署では、ふだんから火事の発生や予防に備え、施設・設備の整備や点検、訓練、広報活動に取り組んでいることや、災害時の救助活動や災害防止の働きをしていることを理解する。また消防署だけでなく、地域に根付いた消防団も消火活動や防災のために活動に参加していることにも注目し、地域の人々の安全を守るための働きと、そこに従事している人々の工夫や努力を考えることで、地域の一員として自分も何が出来るかを考える等社会的な見方や考え方を育てることに適した単元である。

（2）児童観

本学級の児童に、社会の授業が好きかどうかについて授業アンケートを実施したところ、「好き」「まあまあ好き」と答えた児童は約90%であり、社会科の授業に対する意欲は高い。その理由として、「社会見学に行くことでいろいろなことを教えてもらって楽しいから」が1番多く、その他「身の回りの事について勉強できるから」であった。また、社会科で学習したことは生活に役立つと思うかという質問に対して「役立つ」と答えた児童は全体の約85%だった。一方肯定的でない主な回答の理由は、「興味がないから」「得意ではないから」というものがほとんどであった。

得意でないとする児童の理由として、「調べたことをまとめること」、「調べたことを発表すること」に苦手意識が多い。

安全なくらしの単元において、「ふせごう、交通事故や事件」は学習済みである。警察の学習では安全マップを作る活動を行い児童に海田町の危険な場所・安全な場所の周知の徹底をすることが出来た。児童の消防署の活動についての知識は消火作業や訓練をしていること等、おもな活動に対しての知識は高い。しかし、消防署にはその他に火事場以外の救命活動や、防災活動も行っていることに気付いている児童は数名であった。

（3）指導観

「安全なくらしを守る」の小単元において、「地域を守ってもらう」という考えから、児童

自ら「地域を守りたい」という積極的に社会にかかわろうとする心や意欲を持った姿勢を育てることを目指したい。

そのため指導に当たっては、まず火事の様子やグラフなどから毎年多くの火災が起きていることに気づかせ、消防活動について興味をもたせていく。早く消火を行うための努力や工夫について調べ、消防署だけでなく関連機関との連携によって消火や救助に当たっていることを理解する。また学習を通して、消防署や消防団の活動のおかげで自分たちの生活が安全に守られていることに気づくようにしたい。そこで見学に行く前には、消防署の職員が火災の発生において速く活動するためにどのような工夫をしているのか予想を立てる。あらかじめ調べたいことを明確にさせることにより、調べてまとめる作業を苦手と感じる児童にも対応していきたい。消防署だけでなく地域や学校内にも消火設備があることを知り、火災を防ぐため地域や学校が一体となって取り組んでいることをおさえたい。最後には消防署や消防団に頼るだけでなく、自分たちも「海田町を守りたい」と意識の向上や生活の改善につなげていきたい。社会科の学習がわたしたちの生活の役に立つものだと思える単元にした。

5 単元の目標

- ①災害から人々の安全を守るために、消防署で働く人や関係諸機関が協力合って防災につながっていることや、緊急に対処する体制をとっていることを理解できる。【理解】
- ②消防署のはたらきを調べ、人々の安全を守るための活動や努力していることを授業や見学を通して調べ発表することができる。【態度】
- ③災害から人々の安全を守る消防署や消防団など関係諸機関のはたらきを調べ、そこに従事している人や地域の人の工夫や努力を考え、調べたことをまとめたり表現したりすることができる。【能力】

6 単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・技能	知識・理解
地域の人が町を守るために行っている活動について興味を持ち、意欲的に調べることで、自分も地域の一員として自分の安全を自分で守ることが大切だということを自覚している。	地域において人々の安全を守る工夫について予想したり学習計画を立てたりすることで、安全を守るために関係機関の働きやそこで働く人々の思いや努力を考えて学習したことを適切に表現している。	緊急時には消防署だけでなく様々な機関と連絡を取り合い対処している体制をとっていることや、見学を通して学んだことや発見・気づきをノートにまとめて発表につなげている。	災害から安全を守るために日ごろから未然に防ぐための取組を行ったり、早期発見に努めたりまた連携を取って緊急時にも対応できるよう体制をとっていることを理解している。

7 指導と評価の計画

次	時	学習内容	評価				
			関	思	観	知	評価規準
1	1	資料のから火事現場では人はどのように動いているのかを読み取り，海田町では火事がどのくらい起きているのか，また原因について調べる。	○				火事の起こる原因や消火にかかわる人に関心をもっている。
2	2	火事が起きてから，燃え広がる速さから，消防署がどこで発生してもすぐ対応できるよう配置されていることに気づく。	○				火事が発生した時，早急に消火できるように消防署が配置されていることに気づいている。
	3	119番の通報の仕組みを調べ火事にどのように対応しているのかを学ぶ。		○			119番の仕組みについて調べ，警察と同じように消防署も災害時の協力体制をとって活動していることに気づく。
	4	消防署のスローガンを予想し，それにもなう仕組み，工夫について考え，消防署の設備や仕事の工夫について考え，見学に行くための全体で聞いておきたい質問をまとめる。		○			消防署の人がスローガンとすることを予想することから，消防署の設備や活動の様子や工夫について自分の考えを予想しまとめている。
	5 6	消防署に見学に行き，火事にすばやく対応するための消防署の設備や働き方の工夫を見つけ，質問を通して働く人々の努力や苦勞を知る。			○		消防署の人から話を聞いたり，施設を見学したりして，地域の安全のために活動してくれていることへの思いを考える。
	7	消防署のスローガンを考えることを通して，消防署の役割から防災のためにどのような取組をしているかをまとめる。		○			見学で見つけたことや，質問をして分かったことを確認するとともに，消火の無い時の消防隊員の活動や日ごろ努力していることについてまとめている。
3	8 本	消防署と消防団の違いを調べ，地域のために，防災に			○		消防署と消防団の違いを比較しながら消防団の仕事を

	時	努める活動をしている人がいることを知る。					調べ、どうして消防団が必要なのか考え、説明している。
	9	学校内にどのような消火設備を調べ、どのように防災しているのかを学ぶ。			○		学校における火事に備えた設備について調査して、ノートにまとめている。
	10	大きな災害に備えての都道府県を超えた活動の大切さを学ぶ。	○				大きな災害に備えて地域の一員として何ができるかについて考えている。
	11	地域の一員として、わたしたちに出来る防災について考える。		○			災害に対する取組から、地域の一員としてできることについて考えている。

8 本時の学習

(1) 本時の目標

地域の消防団のはたらきについて調べ、自分の地域は自分で守ろうと活動している消防団の思いを知り、消防団の仕事の必要性を自分なりにまとめることが出来る。

(2) 観点別評価基準

【観察・技能】

消防署と消防団の違いを比較しながら消防団の仕事を調べ、どうして消防団が必要なのか考え、説明している。

(3) 準備物

インタビューしたビデオ、テレビ、ウェビングマップ（ワークシート）
 掲示物（言葉カード）

(4) 学習内容

	学習活動	指導上の留意点 (◇) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
導 入	<p>1 1枚の写真から, 消防署の人と消防団の人が一緒に活動していることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装が違う ・持っているものがちがう。 	◇消防署と消防団は別の団体だということを確認する。	
	消防団の人はどのような活動をしているのか調べて、ウェブマップにまとめよう。		
展 開	<p>2 消防団はどのような人がどのような活動をしているのかを調べる。</p> <p>○消防団の人はどんな活動をしているのか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火活動 ・防災活動 ・水防活動 ・行方不明者の捜索活動 ・地域の設備の点検 <p>○調べてみてどんなことを思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの活動をしている。 ・消防署の人と似た活動をしている。 ・消防署の人と違う仕事もしている。 <p>3 消防団の存在意義について考える。</p> <p>○なぜ消防署があるのに消防団の人は活動しているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる町にするため。 ・地域の一員として手助けした 	<p>◇消防団の活動の多彩さに気付かせるため、消防団の活動について予想させる。</p> <p>◇消防団の人へのインタビュー・教科書・資料集・チラシを使って消防団の活動について調べる。</p> <p>◇消防団も消防署と同じように消火作業や訓練に取り組んでいることに気が付く。</p> <p>◇地域を守りたいという消防団の方の気持ちに気が付く。</p>	<p>○消防団について調べ消防団の人がどのような思いで活動しているか考え、説明している。 (ノート・発言)</p>

	<p>いから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの町は自分で守りたいから。 		
まとめ	<p>4 ウェビングマップのローガンを決めてまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>消防団の人は地域を守るために消防署や警察署の人と協力して海田町の安心安全のために活動している。</p> </div>	<p>◇前時のウェビングのかき方を押しさえる。</p>	<p>★自分の言葉でまとめを書こうとしている。 (ノート) [主体性]</p>
	<p>5 振り返りをする。</p>		